

事業所名		発達センターちよだ				支援プログラム		作成日	2025 年	3 月	3 日
子ども像		ちよだでは、「こんな子になってほしい」という私たち保育者の願いです。子ども像をもとに、次のような視点を大切にしながら日々の保育をすすめていきます。 ○ みんなのえがおが好きで、人とつながる子ども ○ 大きくなりたいと願う子ども ○ ひとと一緒にたのしくあそび、好きなあそびがいっぱいある子ども ○ 自分のことが好きで、自分を大事にできる子ども									
療育の視点		・気持ちよく生活し、楽しくあそべるように、丈夫なからだづくりを大切にします。・いろいろなあそびを経験する中で、大好きなあそびをみつけ、楽しい気持ちを共感しあうことを大切にします。・四季を通して自然の中であそぶこと、本物に触れ実際に体験することを大切にします。・家族に寄り添い、みんなで子どもの姿をとらえあうことを大切にします。									
営業時間			9 時	45 分	から	15 時	0 分	まで	送迎実施の有無		あり なし
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	訪問園の特色を活かして、その子に合わせた生活のADLの向上を図っていきます。また、給食を通して、道具の使い方や姿勢、食べ方なども見ていきます。排泄・着脱がしやすい姿勢や必要な物を訪問園と共に考えていきます。									
	運動・感覚	運動機能・感覚統合（5感）を意識した遊びづくりを通して、運動発達課題を整理していきます。また、訪問園と共にあそびの中で、様々な経験を積み重ね、大好きなあそびをみつけ、楽しい気持ちを共感しあいます。訪問園と共に、みんなで子どもの姿をとらえあうことを大切にします。訪問園の各種のとりくみを尊重して、力加減やボディイメージ、コントロールする力を育みます。									
	認知・行動	児童発達支援事業と連携を図りながら、認識面の発達を促していきます。そこで、確認事項を訪問園と連携していきます。訪問園の特色を伺いながら、対象児が困っていることを直接支援を行っていきます。また、その都度訪問園とケース検討を行っていきます。									
	言語 コミュニケーション	”要求” ”気持ち” ”意思表示” ”表現する力”を保育者やお友だちと共に大切にして、コミュニケーション、人との2項関係を気づいていきます。言語という面では、様々な要求手段、表現方法について、子どもにあった表現手段を家族共に検討し、支援していきます。									
	人間関係 社会性	訪問園と利用する他児童発達支援事業所と連携を図りながら、人間関係を築く橋渡し役を行います。									
家族支援		毎回の訪問後に直接保護者の方と懇談をして、支援内容と懇談内容を一致していきます。					移行支援		就園・就学に向けて学習会、交流会を積み重ねていきます。各家族に合わせて、懇談等を行い、移行支援がスムーズになるように、書面、訪問等を行います。保育所等訪問支援事業を実施しながらアフターケアを実施しています。		
地域支援・地域連携		園庭を地域の方に向けて開放を行い、あそぶ場と伝承あそびを伝える場を作っています。また、いつでも相談できる環境を作っています。					職員の質の向上		職場内での研修だけでなく、法人全体での研修や社会資源や本人支援、発達理解、あそびづくり、虐待防止、人権等の研修も行っています。よりよい支援をつなげられるようにします。		
主な行事等		（保護者研修）～様々な研修を通して、発達や障害、子育てを学び、お母さん自身のリフレッシュなどを取り組みます。入卒園式・季節の行事・家族での参加行事（運動会・まとめの行事）年長児の単独保育・長時間保育・親子宿泊・各月の誕生日会・人形劇鑑賞									